



(NTT東日本 青森 橋本ビル)

シリーズよみがえるあのころ
～電話がみえる心の風景～

車窓から眺める電話局

写真提供/NTT東日本 青森支店

I

NDEX

| | |
|---|--------------------------|
| 新本部長 ごあいさつ 1 ～健康で生きがいのある生活を～ 奥野 洋一 | 東北地方本部だより 10 |
| ごあいさつ 2 NTT東日本 宮城事業部 青森支店長 | 各地区電友会だより 12 |
| 支部長メッセージ 青森支部長 3 | 会員リレーコーナー 64 |
| NTTグループ東北だより 4 | 会友コーナー 文芸・随想 68 |
| 震災コーナー 5 | でんでんみちのく川柳コーナー 76 |
| 賛助会員企業様コーナー 7 | NTT東日本から退職者の皆様へ 78 |
| | 編集後記 79 |

健康で生きがいのある生活を

電友会東北地方本部
本部長

奥野 洋一



このたび小野寺前本部長の後を承け、電友会東北地方本部長に就任しました奥野洋一です。

大多数の会員の皆さんとは面識が無いと思いますので、最初に経歴等、自己紹介したいと思います。

出身は秋田県秋田市です。昭和49年に電電公社に入社し、平成26年にリタイアするまでの40年間、NTTグループにお世話になりました。

電電公社に10年間、まだ東西に分社する前のNTTに10年間在籍した後、全国一社化する前のNTTドコモ東北に転籍しました。以降20年間、ドコモ本体及びそのグループ会社にお世話になった次第です。

ところで、電友会と言うまでもなくNTTグループのOB・OGで構成される組織です。そしてその最も大きな目的は、会員相互の絆を基盤に、会員個々人が健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、支援していくことだと思っています。

勿論何が生きがいということとは、人様々です。趣味の分野に生きがいを見出す人もいるでしょうし、ボランティア活動が生きがいだという人もいます。

また、これからも働ける間は働きたいと考えている人もいます。電友会本部では、国の要請を受け、もっと働きたいと思っている人の就労支援をするため、このほどNPO法人を立ち上げ、首都圏の4地方本部(本社、東京、関東、ドコモ)で人材派遣事業を始めることになっています。

いずれにしても、会員の皆さん一人一人が健康で生きがいを持って日々の生活を送ることが基本です。この上に立って初めて、電友会のもう一つの大きな目的であるNTTおよびNTTグループ事業への協力・支援活動も現実のものとなると思います。

これからお互いに心身共に健康で、生きがいのある生活を送っていききたいものです。

ごあいさつ

東日本電信電話株式会社 宮城事業部
青森支店長

井 沢 厚



東北電友会の皆様には、日頃よりNTT東日本グループの事業に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

青森の緑も深まり、夏本番を迎えました。青森の一番の売りでもある大自然を満喫できるシーズンであると同時に、「熱い」祭りの季節の到来です。青森支店では、青森ねぶた祭り、弘前ねぶた祭り、八戸三社大祭などをはじめ、その他多くの夏を彩るお祭りに様々な形で参加・協賛させていただいております。機会がございましたら是非、足をお運びいただき、楽しんでいただくとともに、後輩社員にもお声がけいただければ幸いです。

さて、青森では今年4月に青森市・NTT東日本青森支店・NTTBBPの三者で連携し、公衆無線LANサービス「Aomori City Free Wi-Fi」の提供を開始しました。これは、NTT東日本の「光ステーション」とNTTBBPの「フリーWi-Fiサービス」を活用し、青森市内の公共施設・交通機関など10ヶ所でスタートしましたが、今後更に拡大していくこととしております。青森においては、北海道新幹線開業、豪華クルーズ船の寄航、中国定期便の就航など、陸海空の立体観光戦略により、外国人の方がたくさん観光に来ております。そのような、外国人を含めた来訪者の方々が青森の魅力を堪能し、手軽にインターネットに接続し活用することにより、その魅力を国内外に発信していただき、更には「Tohoku Japan Free Wi-Fi」と連動させることで青森はもちろん東北全体の活性化につなげられればと思います。

私どもNTT青森グループとしては今後も、各自自治体を中心に地方創生に向けた様々な取り組みが行われることを捉え、ICT分野を担う事業者として、自治体や地元企業の皆様と連携しつとつかりと青森に貢献していきたいと思っております。

話は変わりますが、毎年、東北6県の支店長が選ぶ「今年の一文字」というのがあります。昨年は青森らしく、「チーム青森が、跳ねて」東北を牽引している「こ」という想いで「跳」ねるという字を一文字としました。今年は各人の跳ねる力を、チームとして結集させるということで「結」を選びました。その心は「一致団結」して「結果を残す」ことへの意識を常に持とう、ということとでチーム青森の皆さんへ発信し、様々な施策に取り組んでいるところであります。

今後より一層の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

最後になりますが、東北電友会の今後、益々のご発展並びに会員の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

◎支部長メッセージ



青森支部長

千葉 哲泰

電友会会員の皆様、青森支部の千葉でございます。

東日本大震災から6年が過ぎましたが、未だに避難生活そして仮設住宅の生活をされている被災者の皆さんが約12万人もおられることを、私たちは忘れてはいけないと3月11日にあらためて思いました。

そして避難者の中には、避難先での「いじめ問題」など、新たな課題も出てきていることに、驚きと落胆したところがあります。震災当時は、日本人の助け合いやマナーの良さが、海外メディアからも称賛されたことを思い出されます。「のど元過ぎれば云々」そんなに薄情になってしまったのか今の時代は？ などと思ひ悩む今日この頃です。

そして昨年の熊本大地震から1年が過ぎましたが、今もって震度4から6の地震が続いている状況です。早めの復興を祈念するばかりです。

最近、いつ何が起きるのか判らない現代です。若い時には「明日があるさ！」なんて

仕事の先延ばしをよくやったものでしたが、歳を重ねることにできることは早めにやろうと、常々思っているところです。

と言いつつも、若い時期に大船渡電報電話局で仕事をしたこともあり、住んでいた社宅も流されたことも聞き、同じ時期に仕事をしていた方も流されたことも聞き、大震災後に「行きやなきゃ！行きやなきゃ」と思いながら、未だに足を向けてない私もおります。情けない限りです。大船渡の皆さんごめんなさい。

話は急に変わりますが、電友会青森支部としての取り組みの一つとして、昨年3月に北海道新幹線が開通しましたことを機に、北海道電友会函館支部との交流を始めました。過去にはNTT青森支店とNTT函館支店の青函交流もしておりましたが、組織改革などで疎遠になっていたこともあり、交流の再開という形で行っていききたいと思っております。

昨年は、私の大好きなゴルフ交流を行い、北海道からは2名だけの参加になりましたが準優勝と3位を持っていかれました。今年は囲碁サークルの皆さんに頑張っていたいただき優勝を勝ち取ってもらいたいと思っております。

最近、NTTグループという大きな組織の

中で育ち、退職をして一個人になり各種届出などには、職業「無職」と記入する際など寂しさを感じつつも、居酒屋等（スナックもありますが）で、部外の方々と交流を楽しみながら新たな発見をしていくたびに、高校時代の校長先生から頂いた「和を以て貴しと為す」という言葉の意味の深さを感じているところであり、青森支部もこの言葉を基本に運営していきたいと考えております。



◆ N T Tグループ東北だより

◎仙台・青葉まつりへの参加

N T T東日本宮城グループは、5月20日、21日に開催された第33回仙台青葉まつりに参加しました。朝から青空が広がり、夏のような暑さの中、OBの方々にも参加していただき、仙台藩祖伊達政宗公生誕450年を迎えた杜の都を熱く盛り上げました。



柴田宮城事業部長（中央）と
仙台木遣りに参加されたOBのみなさん

◎スポーツクラブ後援会情報

日頃よりN T Tグループ東北スポーツクラブ後援会の活動にご理解とご協力をいただき「東北マックス（ベースボール・バドミントン）」に対し物心両面でのご支援、ならびにご声援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、OB・OGの皆様にも会員募集のご案内をさせていただきましたところ、多くの皆様にご賛同をいただきました。この場をお借りいたしました御礼申し上げます。

今シーズンはベースボールクラブが8名、バドミントンチームは1名の新人選手を加え皆様のご期待に応えるべく日々鍛錬を重ねております。是非、試合会場やグラウンドに足を運んでいただき、ご声援をいただければ選手の励みになると思いますので、よろしくお願いたします。

さて、各クラブの近況ですが、ベースボールクラブは、5月に都市対抗野球（本大会・東京ドーム）予選に臨みましたが、企業チームの壁が厚く、惜しくも一次予選宮城大会第三代表決定戦で敗退。現在はクラブ野球選手権大会（本大会・メットライフドーム）への出場に向けて一次予選宮城大会を戦っております。（6月現在）

バドミントンチームは、昨年11月に開催された日本リーグ（旧二部）において見事に優勝し、今年2月のS/Jリーグ（旧一部）との入れ替え戦に臨みましたが、善戦したものの敗退し、昇格できませんでした。今シーズンでの昇格に向けて頑張っております。

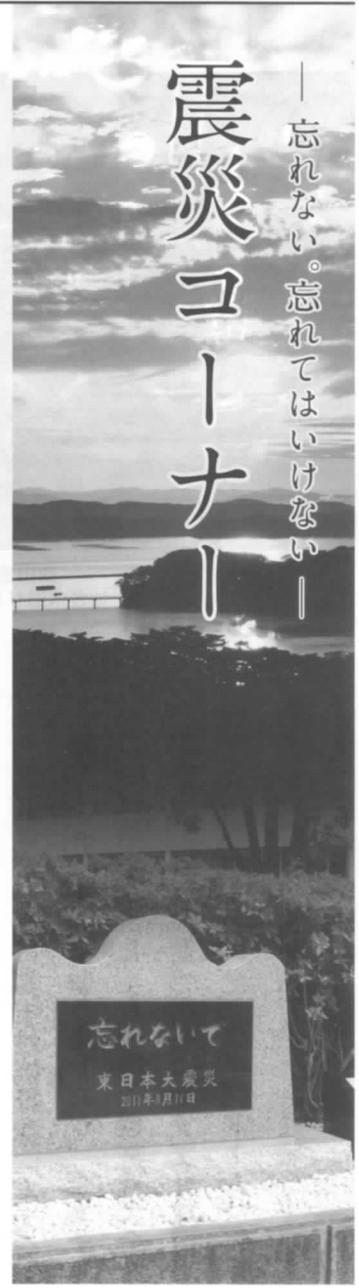


入替え戦を戦う選手
（鈴木・佐伯ペア）

引き続き皆様の温かいご支援並びにご声援を賜りますようお願いいたします。
（スポーツクラブ後援会事務局長）

— 忘れない。忘れてはいけない —

震災コーナー



◎津波と千鉢仏



五ッ橋クラブ 小坂 仁

馬齢重ねると昨日や今日の出来事などがすぐ忘れてしまう。哀しいことに津波の悲劇も北風と共に忘れてしまうのであろうか。文化財研修生と名取の「閑上」を巡った。朝市場は壊滅状態、波打ち際まで一面の更地だ。

研修生の2人も含め、600名の人々が津波にのまれた。日和山の慰霊碑に合掌。晩秋の寒空にあの悲劇を思い出し、みんなの眼は涙でくもる。貞観や慶長の津波の歴史は今回の研修まで知りませんでした。津波の歴史を知っていれば少しは予防策を立てられたかもしれませぬ。誰かと話し合っているのが聞こえてくる。

千鉢仏の寺は山門、鬼瓦の屋根ともども斜

めになっていた。千鉢仏も津波に奪われてしまったのだ。津波の爪跡から発見され、安置されているという廃棄物集積所を尋ねた。斜めになった棚の片隅に枯れ草に包まれている5体の千鉢仏と対面した。傷ついた5センチほどの千鉢仏を手の掌に包んだ。心の小さな仏像と触れ逢ったのか全身が熱くなるのを感じた。銅像の小さな千鉢仏は、あどけない表情で私を見つめている。両手で包むと、安心したのか不思議と温かかった。彼岸の世界なのだろうか。

青葉ヶ崎（仙台城）の寺院に祀られていた3千世界、彼岸の千鉢仏を仙台という地名の由来とした、政宗の和歌を想い出した。

入り染めて国ゆたかなる みぎりとかや千代とかぎらじ せんだいのまつへ政宗へ寒風にのって何処からともなく話し声が聴こえてくる。人の名前を読み上げているらしい。みんな寺に急いだ。津波に半分流された

お寺の仮の本堂であった。読経ではない。津波にのまれた人々の名前を一人ひとり読みあげているのであった。名前を2回繰り返し、年齢も読む。ゆっくり噛みしめるように読経のように朗詠している。50人ほどの参拝者は瞑目し頭をたれて耳を傾け悲劇の現実を忘れずに心に記憶し魂に刻んでいる。切なく悲しいことを思い出し、旅立った人々の名前を僧侶と共に詠みあげながら、自分に聴かせている。浄土の世界に招かれた人々の魂は、浄土天界涅槃の世界から衆生（煩惱現世の人々）を3千世界の千鉢仏から私たちを見護ってくださっていると思うと魂が安らぐ。北風が舞う師走の仏の世界の1日であった。

あなたは津波の歴史を忘れても津波の歴史はあなたを忘れない。

◎震災後の状況報告



電原町退職者の会 半谷 敬一

原発事故の放射能汚染で避難生活を強いられてから6年が経過しました。南相馬地区の会員が住んでいる地区は全て、避難が解除され、ほとんどの会員は自宅へ戻り生活をして

いますが、この間の避難生活から、新しい場所に住宅を求めた会員3名、未だに避難生活をしている会員1名となっています。

原発事故の終息が未だに見えない中、これからも、会員の安全、安心な生活ができるよう取り組んで行きたいと考えています。

最後に、ご支援と励ましを頂いた全国の仲間から感謝申し上げます。



ntt.com



**Transform your business,
transcend expectations
with our technologically
advanced solutions.**

別冊

防災タウンページ デビュー!!



※タウンページはNTT東日本・NTT西日本が発行する職業別電話帳です。
※NTTタウンページは、NTT東日本・NTT西日本のタウンページ発行業務を委託しています。

NTTタウンページ株式会社 東北営業本部 H29広表第217号 [171231]

賛助会員企業様コーナー

「賛助会員企業様コーナー」は賛助会員企業様の会員から、ご自分の会社の紹介や余暇の過ごし方等を寄稿していただくコーナーです。今回は(株)協和エクシオ東北支店様、(株)NTTドコモ東北支社様、資材リンコム(株)東北支店様です。



株式会社 協和エクシオ
東北支店
遠原 秀基

出身は広島県。東北の
四季折々を楽しんでいます。

(株)協和エクシオ東北支店の遠原(おぼら)です。昨年の6月下旬に着任しました。併せて、大和電設工業(株)も兼任しており、重責を背負った中での着任でしたが、皆様に支えられ、なんとか今日まで歩みを進めることができました。改めて感謝を申し上げます。

今年で、協和エクシオは創立63年、大和電設工業は創立68年を迎えます。仙台市青葉区大町の同一ビル内に協和エクシオ東北支店、大和電設工業本社を置き、各県域に工事事務所や支店を置いて、有線・無線の通信設備工事やICT事業・社会基盤事業の建設・保守工事に取り組んでいます。NTT様をはじめ、お客様からも信頼されるパートナー会社と言われるよう取り組んでまいりますので、引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。

さて私事、10年ほど前にNTT青森支店でお世話になって以来の東北勤務です。当時お世話になった皆様に突然お会する機会が多く、昔を懐かしみながら仕事に取り組んでいます。出身は広島県で、昨年の着任時は、ちょうど広島カープが神っている時期での異動でしたので、着任後暫くは会社の業績以上にカープの勝率を気にかける毎日でした。25年ぶりのリーグ優勝時には、楽天ファンを気遣い、喜びを内に秘め、自宅で一人祝賀会をしました。

休日は、春は桜、夏は祭りや花火、秋は紅葉、

スポーツ観戦、冬は温泉と東北の四季折々を楽しむようにしています。山あり、海あり、歴史あり、お酒あり、…これからも東北の魅力を求め、各地に出かけたいと思っています。

先日、震災復興6年目を機に、石巻市、女川町、東松島市野蒜や名取市閼上、亘理町などを視察してきました。6年前は全国のIRUを担当していたこともあり、震災直後に被災状況の把握に訪れたことがありましたが、以来の訪問でした。当時の情景が蘇るなか、道路、駅舎、病院など、確かにインフラの整備は着実に進んでいる一方で、住民の皆さんが、高台移転や防潮堤建設などを受け入れて、従来の日常を取り戻そうとする思いとともにあるのか否か、複雑な心境でした。改めて、被災者の皆さんに寄り添い、被災地の復興、発展とともに豊かな社会づくりに貢献し続ける会社でありたい、と感じたところです。

最後に、私たち通信建設業において何よりも最優先すべきは安全と健康です。協力会社社員も含めて、全社員が安全、安心に1日の業務を終え、そして健康で家族の元へ帰宅し、健やかな朝を迎える、この毎日の繰り返しがいちローのような偉業につながるものと考えています。これからも、この思いを原点に取り組んでいくつもりですので、どうぞよろしくお願いいたします。



株式会社 NTTドコモ
東北支社
藤原 道朗

出身は北海道。今年は盛岡さんと山形花笠まつりに伺って…。

NTTドコモ東北支社・ドコモCS東北の藤原です。NTT東日本の各支店をはじめNTTグループ各社のみなさんのご支援をいただきながら、ドコモとしての事業ができていくことを改めて感謝申し上げます。昨年6月に着任してから早くも1年が過ぎましたが、北海道出身の私にとっても東北の広さを感じながら日々仕事をしております。

昨年の夏祭りの季節には、青森のねぶた祭りや秋田の竿燈祭りに伺うことができました。どちらのお祭りにもNTT東日本グループの社員の方々が積極的に参加されていて、地域密着型で地元の方々とともに盛り上げていることを体感いたしました。ドコモ支店のメンバーも一緒に参加させていただき、とてもうれしく思っています。わずか1年ではまだまだ東北の素晴らしさや魅力を語れるほどには至っておりませんので、今年は盛岡さん、山形花笠まつりに伺って、地元の温泉や地酒も一緒に味わいながら各地の盛り上がりや魂を感じてみたいと思っております。

今年度、ドコモ東北グループでは、「東北のお客さま・社会へよりよい明日を届ける」をスローガンに、スマートホンを通じて「安心・安全、簡単、便利、お得」をお届けできるよう取り組んでおります。

「安心・安全」については、昨年度、仙台市と東北大学災害科学国際研究所と協定を締結して、

防災・減災などをテーマに共同検討や実証実験を行っております。今年11月に「世界防災フォーラム」が仙台で開催予定ですが、しづかりと成果を出していきたいと考えております。

「簡単、便利、お得」については、これまで携帯電話の機種変更などでご利用いただいている「dポイント」を、日ごろのお買い物でも「貯める・つかう」ができるようにして、ただいまお店がドンドン拡大しています。コンビニの「ローソン」やファストフードの「マクドナルド」の他、東北地域の「伊達の牛たん本舗」「やまや」「いたがき」さまにも加わっていただきました。みなさんにも是非ドコモのdポイントで、簡単、便利、お得なお買い物をしていただきたいと思っております。

その他にもドコモでは、「+d(プラスデザイン)の推進」と称し、ICTを活用していろいろな分野の方々をパートナーに協創(きょうそう)とともに創り上げる)に取組んでいます。東北エリアでの例では、「水産+d」ということで東松島のカキ養殖漁業で水温や塩分濃度のセンサーを取り付けたブイを用いたシステムを導入して、品質と生産性の向上に取り組んでいます。このシステムは海苔の養殖にも応用させるなど、復興への取り組みとしても拡大されております。これからのIoT時代に向けて東北の地場産業の発展に貢献していきたいと思っております。



資材リンコム株式会社

東北支店

後村 光彦

楽しみながらの散歩・筋トレ・水泳・サイクリング等身体を動かしています。

資材リンコム(株)東北支店の後村です。資材リンコムという会社名はまだまだ知られていない、聞き慣れない、ピンとこない方が多いのではないのでしょうか。東北通産(株)と東日本の北通産(株)・中央資材(株)3共購が昨年、平成28年4月1日に合併して出来た新しい会社です。合併初年度の昨年度は準備不十分で色々ご迷惑をおかけしました。組織的には3社がそのまま支店となり、東京に本社機能を有する形態なので、当社東北支店の社員等はそのままでお馴染みの顔ぶれで皆様の期待に応え、最高の品質・サービスを提供できるように営業させていただきます。東北管内の通信建設会社様の資材調達機関として、東北通産は昭和34年に設立され、平成20年11月から愛子で通算57年間、営業させていただきました。その後、社名変更となりましたが、取扱い商品はこれまで同様にNTT関係業提物品だけでなく、IRU関係・什器・文房具等多岐に渡る民需商品も何でも揃うワンストップサービスで、皆様の信頼に応え、信頼を得ることをモットーとしています。これまでと変わりなく、皆様の役に立てるベストパートナーとなれるようにがんばりますのでお声掛けをよろしく願います。

個人のなことにりますが、電話局、1県1GPUの支店と2回、出身の青森で勤務させていただきました。支店時代は青年会議所の会員にさせてもらい、地元企業の2代目・若手と一緒にねぶた作成・運行や地元活性化イベントとして蟹田村地引網大会開催等深夜まで飲みながらの議論等楽しく過ごしたことが思い出されます。私はノンアルコールでしたが、身体を動かして気分転換することが好きで、歩く時は少し大股の速歩を心がけ、少し遠回りでも緑の芽吹き・木陰のある道に変えたり、公園や家々の軒下の草花等新しい感動を見つけながら歩いています。体力維持等のために月1回程度、市営体育館でマシンを使った筋トレ、水泳、サイクリング等を楽しんでいます。ロードバイクは仙台で動き回る足がなかったため、必要に迫られて大震災前に購入しました。大震災後は復興支援の一環として開催されている「ツール・ド・東北」に当時勤務していたTTKの皆さんと参加・完走したことから更に楽しくなり、通算4回参加しました。1回目は足がつってペースダウンとなりましたが、ゴール前で皆さんに待つてもらい、全員一緒にゴール出来、感激でした。この時はこの目で復興の進み具合を見ながら復興支援につながればいいという思いでした。ところが、4回ともに沿道にある仮設住宅の皆さんが出て来て旗を振って応援してくれたことが逆に私の完走に大きな力となりました。そう強く感じたことが印象的でした。大震災・復興のニュース・記憶が薄れるのに3年程度という話もありましたが、今でも皆さんの心の中にまだまだズッシリと残っており、復興・再生は途上にあると思います。色々なことを書きなぐりましたが、これからも仕事に遊びに頑張っていきますのでよろしく願います。

東北地方本部だより

東北地方本部事務局

◎電友会本部拡大理事会

29年2月23日、東京西新宿「オペラシティビル」において開催。29年度事業計画の審議、各地域での取り組み紹介等が行われました。

◎事務局長会議模様

29年2月24日、「オペラシティビル」において開催。各地方における会員増施策等の情報交換等行いました。

◎支部長・事務局長会議

29年3月7日、NTT五橋ビルで開催。29年度事業計画についての意見交換、本部拡大理事会模様の報告等が行われました。



支部長・事務局長会議

◎第1回地方理事会

29年4月21日、NTT五橋ビルで開催。各支部長（理事）出席のもと29年度地方評議員会の議案審議、地方本部長表彰の推薦等を行いました。

◎東北地方本部評議員会の開催

29年5月18日、メトロポリタン仙台において開催。ご来賓にはNTT東日本取締役宮城事業部長柴田基靖様を始め東北各支店長ほか幹部の皆様、及びNTTグループ等の賛助会員の皆様をお迎えし、また、電友会本部からは鈴木正誠会長にご出席をいただきました。

会議では、28年度事業報告並びに29年度事業計画、役員改選等について審議し全て原案通り可決承認されました。なお、本会議において、小野寺昭夫本部長が退任され、新たに奥野洋一氏が地方本部長に就任されました。会議終了後、地方本部長表彰（長期就任）



ご来賓のNTT 東日本取締役宮城事業部長 柴田 基靖様

ボランティア活動)を行いました。



小野寺地方本部長と
地方本部長表彰受賞の方々



ご来賓の電友会本部会長
鈴木 正誠様



◎叙勲のご紹介

謹んでお祝い申し上げますと共に、益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

高齢者叙勲

(叙位・叙勲) (支部名) (ご氏名)

瑞宝双光章 宮城 齋藤 齊 様

宮城 土生 順平 様

宮城 佐藤宗二良 様

宮城 武藤 鉄雄 様

(平成28年10月～29年5月まで)

資材リンコム株式会社 東北支店

資材リンコム誕生より、1周年を迎えることができました。
これからもご愛顧のほど、よろしく願いいたします。

電気通信資材・保安用品・事務用品・オフィス什器・OA機器 等
業務処理に欠かせない物品・消耗品を各種取り扱っております。

～スタッフ一同、誠心誠意対応させていただきます～



〒989-3124 仙台市青葉区上愛子字松原47番9

電話 022(302)8100 F A X 022(302)8105

URL : <http://slinkcom.jp/>